

○司書専門試験問題例

第1問 次のA～Jの書名から、その分類を日本十進分類法（NDC）第9版に基づき類・綱の2桁の数字であらわしなさい。

※ 例 「日本の歴史」

2	1
---	---

- A 「消費者物価指数年報 2016年」
- B 「マーケティング基礎読本」
- C 「現代ジャーナリズム事典」
- D 「あなたが詠む連歌」
- E 「世阿弥を学び世阿弥に学ぶ」
- F 「日本列島の地震・津波の歴史」
- G 「アフリカ古代文明の謎」
- H 「フランス語文法総解説」
- I 「イスラム信仰とその基礎概念」
- J 「無線 LAN 安全活用ガイド」

第2問 次の（ア）～（カ）に該当する語句を答えなさい。

- (1) 図書館法第10条において、公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する

(ア)

 の条例で定めなければならない、と規定している。
- (2) 著作権の原則的保護期間は、著作者が著作物を創作した時点から著作者の死後

(イ)

 年までである。
- (3)

(ウ)

 は、国立国会図書館ホームページ上で、国立国会図書館職員が調べものに有用であると判断した図書館資料、ウェブサイト、各種データベース、関係機関情報を、特定のテーマ、資料群別に紹介するものである。
- (4) 多数の参加機関によるオンライン分担目録作業を目的として形成された組織を

(エ)

 と呼ぶ。
- (5)

(オ)

 は、特定のテーマに関する情報を探すための手がかりになる図書館資料やウェブサイト等を簡潔にまとめた初心者向けガイドのことである。従来は紙媒体で提供されていたが、近年ではインターネット上でも提供されている。
- (6)

(カ)

 は、平成17年の中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」で示された言葉で、「21世紀は新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわ

ゆる (カ) の時代であると言われる」と記述されている。

第3問 次の(1)～(5)の語句について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- (1) SDI サービス
- (2) 公貸権
- (3) クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
- (4) ディスレクシア
- (5) 学校司書

第4問

平成22年は電子書籍元年といわれていたが、現在に至っても公立図書館への電子書籍の導入は進展していない。このような情勢を踏まえ、(1) 公立図書館に電子書籍を導入するメリットと、(2) 導入が進まない原因についてそれぞれ論じなさい。

第5問

平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行された。同法では公立図書館等の行政機関に障がい者への合理的配慮の提供を義務付けている。施設をバリアフリーにする、点字ブロックを設置する等の基礎的な環境整備の他に、個々の障がい者が図書館をより利用しやすくするための合理的配慮に関して、次の(1)～(5)の5項目における具体的な例を、それぞれ複数列举しなさい。

- (1) 来館や館内での移動手段への配慮
- (2) 利用における意思疎通の配慮
- (3) 利用ルールの変更
- (4) 講座等の催し開催時の配慮
- (5) 資料・情報へのアクセスについての配慮